

# 新型コロナウイルス感染段階対応の目安

R4.7.28 改定

病床使用率や社会機能の制限状況等も踏まえ、移行を慎重に判断

指標	レベル1 (注意報)	レベル2-I 警戒警報	レベル2-II 特別警戒警報	レベル3 危機事態警報	レベル4 緊急事態宣言
	レベルは県全体で判断				
病床使用率	—	20%	35%	50%	100%
社会機能の制限状況		—		一般診療や福祉サービス等への深刻な影響	
参考指標 重症病床使用率		—		50%	100%

医療圏ごとに医療の逼迫具合を可視化したうえで  
基本的な感染対策を呼びかけ

原則、県全体で行動制限を実施  
経済への影響が大きい行動制限については  
感染状況を踏まえ地域・医療圏ごとに実施

対策等

◎基本的な感染防止対策の実施

- ・会話時のマスク着用
- ・換気の実施
- ・三密回避
- ・手指消毒
- ・体調不良時の外出自粛
- ・会食時の認証店利用
- ・業種別ガイドラインの遵守  
ほか

◎ワクチン接種の促進

◎感染に不安を感じている無症状者への検査要請

高齢者等の重症化リスクの高い方やそうした方と接する方に対象を絞り前倒しで実施

◎接触機会の低減に係る要請等  
(リスクの高い場への外出自粛等)

まん延防止等重点措置・緊急事態措置の適用要請及び措置に基づく対策の実施

※ 上記はあくまでも目安であり、レベル判断及びレベルごとに講ずる対策、対策の対象地域等については、国の基本的対処方針やその時点の感染状況、医療提供体制の状況等に応じて、有識者の意見等も踏まえ総合的に判断する

※ 「病床使用率」や「社会機能の制限状況」の推移等によっては、対策の前倒し実施を検討する

※ 新規感染者数や療養者数については、指標の設定が困難であることから、指標とはしないものの、常に注視する必要がある

※ レベル判断に関わらず、各医療圏ごとに病床の逼迫状況(レベル相当)を可視化し、注意喚起を行う